

放射線診断専門医としての
経験を生かした精度の高い
画像診断をおこないます。

クリニック理念

未来にあかりをともす医療を

「技術だけでなく心も支える医療」を核とし患者様の未来に希望の光をともすことを使命とする

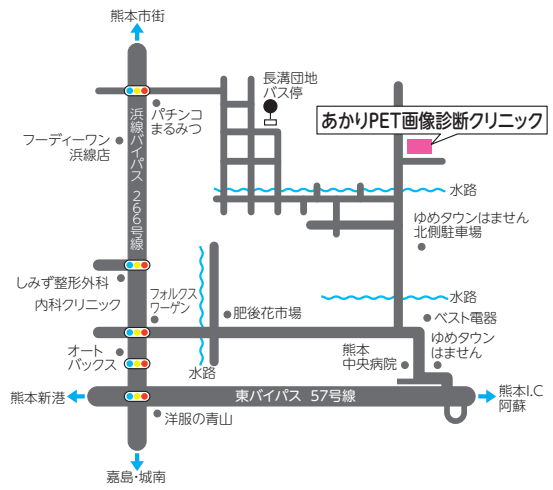
未来にあかりをともす医療を

未　来　診断や治療を受ける患者様のこれからの人生、健康で安心できる生活

あかり　希望・安心・心の支え、病気に立ち向かう力や前向きな気持ち

医　療　PET診断を中心とした科学的・専門的な医療、信頼できる診断の提供

単なる検査や診断に留まらず、患者様の
心の支えや希望に寄り添う医療を提供する



バスをご利用の場合

桜町バスターミナル熊本都市バス①番乗り場
「P3-1 長溝団地行」乗車「長溝団地」バス停下車、
徒歩約 10 分（400 メートル）

お車をご利用の場合

1．浜線バイパスよりお越しになる場合
「フォルクスワーゲン」から入ります。
「ベスト電器」から左に曲がりまっすぐ進みます。

2．東バイパスからお越しになる場合
バイパスから「ゆめタウンはません」に向かってお進みください。「ベスト電器」から右に曲がりまっすぐ進みます。

3．熊本駅からタクシーでお越しになる場合
時間 約 15~20 分

あかりPET 画像診断クリニック
理事長・院長／坂本 史　診療科目／放射線科

住　　所　〒862-0941 熊本市中央区出水 7 丁目 36-25
診療時間　9：00~17：00（休診日：土曜日・祝日）
　　月 1 回日曜診療有り
駐 車 場　40 台収容

お問い合わせ | 完全予約制
096-370-7111
FAX：096-370-7117

陽電子放射断層撮影法

PET検査のご案内

当院は PET 検査専門のクリニックです。
初めての方も安心して検査が受けられます。

あかりPET 画像診断クリニック

PET検査とは

一度の検査で全身を撮影

PET 検査では一度の撮影で、ほぼ全身を見ることができます。

苦痛が少なく着衣のまま検査

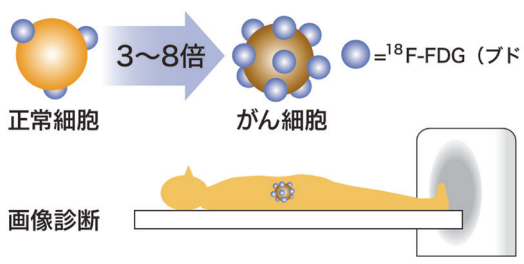
薬剤を静脈注射して約 1 時間安静にした後、カメラで約 30 分横になって撮影します。検査終了後はすぐに通常の生活ができます。

組織の活動状態がわかり がんの転移や再発の診断に有用

薬剤の集まり具合で細胞の活動状態がわかるため、腫瘍の良性・悪性の判定、リンパ節転移などの診断に有用です。また、治療効果があるかどうかの判定にも利用され、治療方針を選択する上で大いに役に立ちます。

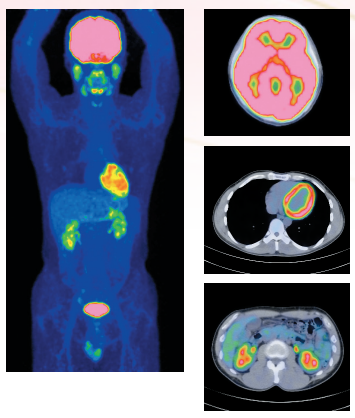
PET検査の仕組み

がん細胞は正常細胞に比べ、ブドウ糖を 3 ~ 8 倍多く取り込む性質があります。この性質を利用してブドウ糖に放射線物質を合成した薬剤（FDG）を静脈注射し、全身に行き渡らせます。その後がん細胞に集まった微量の放射線を専用の PET カメラで画像化し、がんの場所、大きさ、性質などを調べる検査法です。



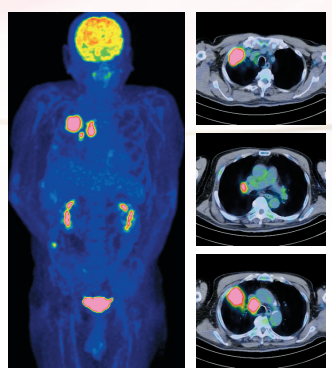
PET カメラでポジトロン薬剤（FDG）から出てくる信号を検知し、画像化します。

●正常PET画像



FDG は正常でも脳や心臓などのエネルギー代謝が大きい臓器には集積します。また FDG は尿として体外に排出されますので、腎臓や膀胱などの尿路系も描出されます。

画像診断例　肺がん・縦隔リンパ節転移



肺がんの病変への FDG の集積と肺門リンパ節転移巣への集積を認めます。PET 検査は FDG の集積の度合いにより病変の悪性度の判定を行うことができます。また断面の評価により病変の部位を正確に判断します。

PET検査の流れ（約2～3時間）

❶ 絶食
検査前 5 時間は絶食してください。
（水・お茶は可）

❷ 面談
医師による面談があります。

❸ 薬剤を注射
薬剤を数 cc 静脈注射します。

❹ 安静（約 60 分）
個室で安静に過ごします。

❺撮影（約 30 分）
PET カメラで撮影します。

※諸事情により時間変更がある場合があります。

診断結果について

診断結果はご紹介の医療機関に速やかにお届けします。
主治医の先生より検査結果の説明をお受けください。

PET検査受診前の注意

検査前の絶食について

- お食事は検査時間の 5 時間前までに軽くお済ませください。以後は、水やお茶、白湯などの飲み物以外は飲食しないようにしてください。糖分を含む物を食べたり飲んだりされますと正確な検査結果がでないため、PET 検査ができなくなります。
  特にスポーツ飲料や栄養ドリンク、ジュース、牛乳、飴やガム、果物など糖分を含むものを飲んだり食べたりしないようにご注意ください。

検査前日の過ごし方について

- 検査前日の飲酒はお控えください。
- 検査前日及び当日は激しい運動や長時間の歩行はしないようにしてください。

その他

- 妊娠、又は妊娠している可能性のある方は検査できません。
- 糖尿病治療を行っている方、ステロイド（プレドニン等）を多量服用の方は事前にご相談ください。
- 高血圧や心臓病のお薬は水で通常通り内服してください。
- ペースメーカーなど体内埋め込み医療機器使用中の方は事前にご相談ください。

◆ 検査費用は保険診療 3 割負担で約 3 万円
◆ 保険適用外で約 100,000 円（消費税別）